

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス プレジール		公表日		令和 8年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		1日定員10名に対し、活動に応じて5つの部屋に分かれて活動出来るよう設定しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		法定で必要とされる職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17%	83%	日々の活動内容等を文字や絵で掲示し、視覚支援を行っています。	出入口に段差があるため、スロープを使用するなどの改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		清掃チェック表を使用し、職員間で情報共有を行い清潔な環境に努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		活動や体調に応じて部屋をりようできるように配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		月1回の会議と、日々の打ち合わせの際に全職員が参加できるように努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価表集計結果について会議を実施し、改善点の検討を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		定期的に職員の聞き取りを行い、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		現在は行っていませんが、必要に応じて今後実施します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		職場外研修の受講や外部講師を招いての研修を行っています。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムの作成を行い、ホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		定期的のアセスメントを行い、会議にて職員間で協議を行い計画書の作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員間で随時ミーティングを行い、情報共有を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		ケース記録に記載し、全職員が共通理解し支援が行えるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	行動の状況を職員が共有できるようにアセスメントの作成や日々の行動記録を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインに沿って計画書を作成し支援を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		正規職員だけでなく非常勤職員の意見も反映させて立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		職員や利用者の意見を聞きながら、活動内容のバリエーション向上に努めています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個々の状況に応じた活動が行えるように計画を作成し、支援が行えるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		支援開始前には打ち合わせを行い、職員が共通理解の下支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	33%	66%	支援終了後は時間が取れないため、支援前の打ち合わせを綿密に行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		日々必ずケース記録を記載し、必要に応じて会議にて検討を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的に見直しや検討を行い、必要に応じて変更を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		4つの基本活動を基に支援が行えるよう、日々の活動を計画して支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		日々子どもの要望を聞き、自分で活動を決めることができるように声かけを行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		保育士、児童指導員、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17%	83%	担当者会議にて情報を共有し、必要に応じて連絡が取れるようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		必要に応じて連絡を取り、情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		担当者会議にて情報を共有し、必要に応じて連絡を取るようになっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		担当者会議にて情報提供を行い、必要に応じて情報提供ができるようになっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		100%	現在は行っていませんが、必要に応じて連携を図れるようになっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	66%	設定した活動ではないが、地域の公園で関わる機会を増やしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		現在は参加はしてませんが、機会があれば参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		日々の送迎時に様子を伝えたり、連絡ノートにて保護者様と連携を図るよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17%	83%		現在は行ってないが、必要に応じて今後検討するようになっています。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		ご利用契約時や必要に応じて説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		定期的に面談の中でご意見を伺う機会を作り、利用児や保護者の意思を踏まえたサービスの提供を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		計画書作成時に説明の上同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談には迅速かつ適切に対応し、必要に応じた助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		100%		現在は行っていませんが、今後開催を検討していきます。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		利用契約時に苦情受付について説明を行い、苦情への対応について担当者を中心に迅速な対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		年3回通信を発行しています。行事や活動については必要に応じて情報発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		利用契約時に個人情報の取り扱いについての説明と署名をいただき、取り扱いについては十分に留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		個々の状況に応じた伝達手段が行えるように工夫しながら支援を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		行事等は行っていませんが、地域の方と交流が行えるように今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を行っています。	マニュアルの周知徹底が行えるように資料の配布を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		業務継続計画の策定を行い、定期的に避難訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		面談を行い、健康状態の把握や服薬等の確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		医師の指示書の確認を行い、職員間で情報共有し対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を基に、年1回以上研修会や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		避難訓練を実施した際には通信にて伝達を行っています。	今後も家族等へ周知出来るように、計画内容について資料の配布や説明を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		100%		明確な方策が定められていないため、今後検討する必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		年1回虐待防止研修を行い、職員の意識向上を図っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		職員会議やケース会議の際、身体拘束について協議しています。		